



学校だより  
【4月12日号】

校長室より① “学校教育目標”「未来に向かってかがやく子どもの育成」

下記に示しているのは、学校経営図です。かっこよく言えば学校のランドデザインです。花が子どもたち。未来に向かってかがやく子どもたちに育てていくために葉っぱのような力を身に付けさせたいと思っています。

やさしい子 たくましい子 すすんで学ぶ子

本校の取組の大きな特徴、強みはやさしい子に位置付けている**認め合い**活動です。

互いのやさしさやがんばり、さらにはちがいを認め合おうというものです。そうすることでこの世にたった一人しかいない自分、他者を大切に思う気持ちが育ってくれたらと思っています。これは、子どもたちはもちろんですが、我々教職員や保護者、地域の方とも互いに認め合える関係を築いていきたいと思っています。昨年度も各学年の教室や廊下に写真や文章で足跡を残していきました。学校全体で取り組んだくすの葉は、子どもたち自ら企画した子どもくすの葉、教職員同士で一年間のがんばりを認め合った教職員くすの葉と合わせて2,137枚になりました。そして、我々子どもたちのまわり

にいる大人の役目は…

子どもたちが安心して  
根を張る**大地が家庭**

昼も夜もずうっと子どもたちを見守る**空が地域**  
日中子どもたちを照らす**太陽が学校**

タイミングよく栄養を注ぐ**水が教職員**

それぞれがそれぞれの役割を果たした上で繋がる。連携していくことを大切にしていきたいと考えています。ゴールは同じです。子どもたちをよりよく育てることです。このゴールさえ見失わなければ、保護者の方とずれることはないと思っています。子どもたちにとって何が大切で、今何が必要か一緒に考えながら子どもたちを育てていきたいと思っています。一年間どうぞよろしく申し上げます。

